

農業女子PJ お弁当の日 News Letter

～地産地消でおなかを満たして
やりたいことをしちゃおう!!～

本日のプログラム

1. 受付
ランチョンマット作成
写真撮影
2. 関係者挨拶
関係者から挨拶
3. 情報提供
地産地消について大切にする地産地消
4. ランチミーティング
自己紹介とお弁当紹介

2024年
7月

中国四国農政局
広島県拠点

「農業女子プロジェクト×弁当の日ランチミーティング」を開催

平成25年から始まった「農業女子プロジェクト」は、女性農業者が日々の生活や仕事、自然との関わりの中で培った知恵を様々な企業の技術・ノウハウ・アイデアなどと結び付け、新たな商品やサービス、情報を創造し、社会に広く発信していくためのプロジェクトで、広島県内には26名(令和6年5月31日現在)が登録されています。

中国四国農政局広島県拠点は、農業女子同志のネットワークづくりを進めるため、昨年度「農業女子プロジェクトメンバー交流会」を共同で開催しました。

今年度も、農業女子同士の交流の深化やイベントの開催などに向け、プロジェクトメンバーとミーティングを行うとともに、活動を全力でサポートしていくこととしています。



(農業女子プロジェクトメンバーと広島県拠点職員)

「弁当の日」コラボ～地産地消でおなかを満たそう～

令和6年6月18日(火曜日)、広島県拠点会議室において、プロジェクトメンバーと一緒に「弁当の日」を開催しました。

始めに、食育や地産地消について状況提供を行い、「弁当の日」が開催されるようになった経緯を説明しました。その後、参加者一人ひとりが持参した弁当への想いを発表しました。

農業女子メンバーからは、「キュウリとほうれん草が自家栽培です。」「地元のヒバゴンネギを使っています。」「白米に玄米を混ぜたごはんです。」など、“地産地消”や“健康”へのこだわりを口にされました。

[弁当の日応援プロジェクト \(bentounohi.jp\)](http://bentounohi.jp)



(関係地方参事官による弁当の紹介)

ランチミーティング

今年度どのようなことを取り組むかを話し合いました。

ランチミーティングでは、①今年度はどのようなイベント(交流会、マルシェ、勉強会)を企画し開催するか、②プロジェクトメンバーが参加しやすいミーティングのあり方、③プロジェクトメンバーの会員数増の方策などについて話し合い、多くのアイデアや意見が出されました。

その他にも、「他団体主催のマルシェに参加して、出展者同士の情報交換や来場者への情報発信ができた」、「来場者からの生の声が、新しいアイデアのもとになった」など、成功体験も発表されました。



農産物の環境負荷低減の取組の「見える化」に取り組みませんか

- **みどりの食料システム戦略**に基づき、消費者の選択に資する環境負荷低減の取組の「見える化」を令和6年3月から本格運用しています。
- 化学肥料・化学農薬や化石燃料の使用低減、バイオ炭の施用、水田の水管理などの栽培情報を用い、**定量的に温室効果ガスの排出と吸収を算定し、削減への貢献度合いに応じて星の数(★～★★★★)で分かりやすく表示**します。
- 米については、**生物多様性保全**の取組の得点に応じて評価し、温室効果ガスの削減貢献と合わせて等級表示できます。

対象品目：23品目 【露地栽培のみ対象】米（乾燥調製されたもの）、ほうれんそう、白ねぎ、たまねぎ、はくさい、キャベツ、レタス、だいこん、にんじん、アスパラガス、ばれいしょ、かんしょ、りんご、日本なし、もも、茶（荒茶加工されたもの）【施設栽培のみ対象】ミニトマト、いちご 【露地栽培も施設栽培も対象】トマト、きゅうり、なす、うんしゅうみかん、ぶどう



取り組みには「利用者登録」が必要です。

まずはご連絡ください。取り組み方法について、ご説明させていただきます。

お問合せ先 中国四国農政局広島県拠点 地方参事官室 TEL：082-228-9676

詳しくは農水省HPへ



編集：中国四国農政局 広島県拠点
〒730-0012 広島市中区上八丁堀6-30
TEL (082)228-9676(内線306)

〈農政局HP〉 <https://www.maff.go.jp/chushi/>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。 <https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>